

図書館ビジョンの具体化に向けた検討状況について

令和6年3月に策定した「横浜市図書館ビジョン」の検討状況について、ご報告します。

1 市立図書館の調査【6年度予算額 36,000千円】

全館の概要調査及び築年数の古い館等について現況調査を行い、今後の市立図書館の再整備の方向性を検討します。

(1) 概要調査

対象：市立図書館全館

内容：既存資料を用いた敷地条件、狭隘化の状況等

(2) 現況調査

対象：築年数の古い5つの図書館（港北、山内、戸塚、鶴見、金沢）及び中央図書館

内容：フロア構成、既存敷地の立地条件等や周辺の動向調査等、対象館の現在状況の調査・研究

(3) スケジュール（予定）

4月～：概要調査、5月～：現況調査、8月～：再整備の方向性を検討

2 中央図書館内に「のげやま子ども図書館」を整備【6年度予算額 150,342千円】

中央図書館1階を、親子連れや子どもたちが楽しく学べる、居心地の良い「のげやま子ども図書館」としてリニューアルします。6年度は「親子フロア」を先行整備し、7年度は「子どもフロア」を整備します。

(1) 親子フロア（イメージパースは裏面参照）

敷地内に併設されている「喫茶のげやま」を、乳幼児とその保護者が安心して遊び絵本を読んで過ごすことができる「親子フロア」にリニューアルします。

<スケジュール（予定）> 4～7月：設計、10月～7年3月：工事等

(2) 子どもフロア

子どもの本や、小説や暮らしの本、障害者サービスコーナーがある中央図書館の1階部分を、親子連れや子どもたちが楽しく学べる「子どもフロア」としてリニューアルします。

<スケジュール（予定）> 6年度：基本設計、7年度以降：改修

3 図書取次所の新規開設について【6年度予算額 20,000千円】

新たな図書取次所の年度内の設置に向けて、準備を進めます。

(1) 候補地（予定）

ららぽーと横浜（都筑区）

(2) 選定理由

- ・都筑図書館は18館の中で最も貸出利用者・冊数、自家用車での来館も多い
- ・都筑区南部から近隣の図書館へのアクセス性が低い
- ・大規模駐車場を備えており、利用者が自家用車で来館しやすい

(3) 整備の方向性

- ・本市北部は子どもの人口も多いため、従来の図書取次機能に加え、その場で閲覧・貸出ができる児童書を充実
- ・子ども向けを含む多様なイベント等の開催

【中央図書館「のげやま子ども図書館」親子フロアイメージパース】

(上：のげやま子ども図書館イメージパース（親子フロア）、下：同アングルの現況の様子)



※ イメージ図であり、今後の設計、工事のなかで一部変更する場合があります

